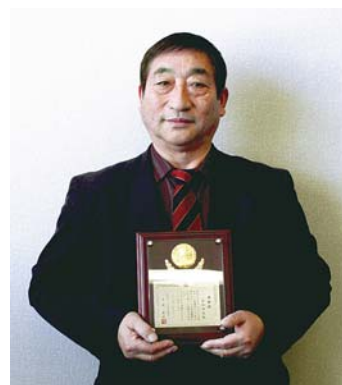


日体協スポーツ指導者表彰

15年以上にわたり競技力の向上や選手の指導・育成、組織の充実などに貢献した公認スポーツ指導者に対し、12月13日、県のスポーツ指導者協議会理事である、狐崎捷琅さん(角館町雲然下町屋)が日本体育協会より表彰されました。

狐崎さんは、バレーボール県高校選抜女子チームの監督として、国際交流試合に3度の出場など、本県の競技レベル向上に寄与しました。また、NPO(非営利組織)角館総合型地域スポーツクラブの設立など、地域の生涯スポーツ普及、振興に貢献しました。



仙北市教育委員の異動

平成20年11月24日の任期満了に伴い、退任された千葉勇前教育委員の後任として、安部哲男氏の選任案が、12月22日、議会定例会本会議において同意されました。

これを受けて、12月25日教育委員会が招集され、委員構成が次のとおりになりました。(敬称略)

- | | | | | | |
|-----|---|---------|-----------|--------|--------|
| ●委員 | 長 | 佐久間 健 一 | ●委員長職務代理者 | 安藤 満 里 | |
| ●委 | 員 | 三浦 陽 一 | ●委 | 員 | 安部 哲 男 |
| ●教 | 育 | 長 | 小林 一 雄 | | |

◇ 秋田発・子ども双方向交流事業 ◇

「秋田発・子ども双方向交流事業(県事業)」について紹介いたします。

このたび、東京都文京区立本郷小学校の5年生31人が、1月5日から7日までの3日間、仙北市を訪れ、雪遊びや紙風船上げなどの伝統行事、農家民泊による農村体験や西明寺小学校児童との交流を行いました。

写真は、本郷小学校児童が西明寺小学校において、地元保存会8名の皆さんの指導を受けながら、西明寺小の5年生と一緒に紙風船づくりに取り組んでいる模様です。子どもたちの紙風船(4体)には、それぞれ交流の記念の言葉や自分たちの目標、イラストなどをしるし、また、両校の先生たちは、それぞれの校長先生の似顔絵を描いた紙風船(1体)を制作しました。

組み立てられた紙風船は早速、両校児童らの見守る中、西明寺小学校のグラウンドにて上げられました。夕暮れ時に浮かぶ紙風船にみな大感動の模様でした。

昨年の11月(11日~13日)には西明寺小学校の5年生全員31人が都内を見学するとともに、本郷小学校と交流をしてきました。(写真はその交流時の集合写真です。)

この事業は、都市や農山漁村での体験交流や学校間交流等を行い、小中学生の豊かな人間性や社会性を育むとともに地域の魅力の再発見等により元気な秋田づくりを進めるため、県の事業として平成20年4月より実施しているものです。



一方国では三省(総務省、文部科学省、農林水産省)連携により平成25年度より全ての小学校が毎年、1学年単位で、農山漁村において1週間程度の宿泊体験(交流事業)ができるよう、受入地域の整備を進めている段階です。秋田県では、交流の促進により、農山漁村の活性化を図ることや、本県の小中学生が都市体験することにより、視野を広げ地域の良さを再認識できることを目的としています。